

大会開催にあたっての競技役員の留意事項

1. 競技の実施方法が 2019 年度の大会とは大きく違っています。主任役員の指示に従い、2 以降の審判留意事項を確認し、審判業務にあってください。
2. **新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患(糖尿病・心不全・呼吸器疾患・高血圧・透析を受けている者・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方等)を持っている方は、審判活動をご遠慮ください。**
3. 原則(審判注意事項)
 - ① 競技会中いかなる場合も、三密回避を念頭に入れ行動してください。可能な限り、会話は控えていただくとともに、複数での飲食はおやめください。特に大声での会話は厳禁です。
 - ② ソーシャルディスタンスの徹底を常に意識し行動してください。手洗い洗顔に心掛けてください。コップ等持ち物の共有はおやめください。
 - ③ 選手と接する時、休憩時、室内での活動時等は、必ずマスクを着用してください。
 - ④ 屋外で活動の場合、マスクの着用は各自で判断し、熱中症に注意してください。
 - ⑤ 屋外では、競技者との不要な接触を避ける行動を心掛けてください。
 - ⑥ 室内は、全ての出入り口、窓は開放しておいてください。
 - ⑦ 机を使用する場合は、一人分をあけて使用してください。
 - ⑧ 休憩の際は、出来る限り、外もしくは、雨天走路を利用してください。
 - ⑨ **大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、大会当日役員受付に提出してください。**次の事項に該当する場合は、**審判活動をご遠慮ください。**
当日朝、ご自宅を出られる際の検温で、37℃を超えていた場合、審判活動をご遠慮ください。
(ア) 体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭通などの症状がある場合)
(イ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
(ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
(エ) 未提出者
 - ⑩ 受付では審判手帳は必要ありません。**お帰りの際にシールをお渡しします。**
 - ⑪ **基本的に、主任者会後に部署別打合せ会を実施します。**指定の場所へお集まりください。
 - ⑫ スタンドを含む競技場内への入場規制を実施します。**総務委員会の指示に従ってください。**
入場は、出場選手とその監督及びコーチとチームマネージャー、競技役員と補助員(プログラムに明記されている者)とします。AD カードは発行しませんが、競技役員は競技役員既定の服装で活動し、審判員証(ADの代わり)を携帯してください。補助員は腕章をつけて活動させてください。
 - ⑬ 競技場まで公共交通機関をご利用の場合、出来るだけ混雑を避ける時間での移動をお願いします。
 - ⑭ 昼食・湯茶は当面準備しません。各自でご準備ください。ご自分で出された、容器・包装紙等の全てのごみは、ご自宅までお持ち帰りください。

- ⑮ 審判控室は、三密回避の観点から 2 階雨天走路も**ご活用ください**。各部屋につきましては、出入り口の扉(廊下側・競技場側とも)は解放しておいてください。常に、換気できる状態にしておいてください。気温・気象等の環境変化に対する対応準備は、各自でお願いします。
- ⑯ 競技運営方法につきましては、**競技委員会の指示**に従って、競技を進めてください。
- ⑰ **大会終了後2週間は健康管理用紙を使用し、健康チェックを行ってください**。終了後、2 週間以内に感染が確認された場合、愛知陸協まで必ず連絡をお願いします。
- ⑱ 基本的に、競技役員のみでの運営を考えています。準備・片付け等部署を超えて、ご協力をいただくことになります。主任役員の指示で、手伝いに回ってください。解散は、全競技終了後、部署別ごとに主任の指示をお願いします。

3.部署別競技役員

総務

競技役員・補助員に対し、コロナウイルス感染症への予防対策及び、安全・安心を確保するための指示を出す

総務員

競技役員等と接する場合は、マスクを着用して、十分な距離を確保する。

ディレクター

通常通り(競技者との接触は不可)。

室内の三密に注意。

技術総務

競技者と会話等が必要な場合、十分な間隔をあける。

ジュリー

競技関係者等と接する場合、マスクを着用して十分な距離を確保する。

審判長

現場へ出る事は最小限に抑え、インカム等で指示を出す。

競技役員等と接する場合、マスクを着用して十分な距離を確保する。

番組編成

競技役員等と接する場合、マスクを着用して十分な距離を確保する。

アナウンサー

新型コロナウイルス感染症の予防に関するアナウンスを定期的に流す。

室内の三密対策を意識し、休憩は外で**取り、室内の人数は減らす**。

マイクの使用については、併用を避ける。できない場合は、必ず消毒処置をする。

選手紹介等は、簡潔に行う。

記録係

室内の三密対策を意識し、休憩は外で取る。記録掲示を**実施する場合は**工夫する。

情報処理員

室内の三密対策を意識し、休憩は外で取る

現場打ちの担当者は、選手・担当記録員との距離を十分に保つ。

マーシャル

コロナウイルス感染症への関心を高め、安全・安心対策の啓蒙活動を合わせて実施する。

選手等競技関係者との会話は、距離を十分に確保し、マスクを着用する。

競技者係

競技実施方法について、競技委員会と密接な連絡を取り合う。

招集時間を3組程度ごとに分け、招集を実施し、極力選手との接触を避ける。

招集方法等を確認し、安全かつ速やかに競技が開始できるように努める。

ナンバーカードの配布・回収に際し選手との接触は避ける。手袋使用可。

招集用テーブルを使用する際、1種目1テーブルで実施する等、十分な間隔を確保する。

役員係

室内の三密対策を意識し、休憩は外で取る。

競技役員と接触の際には十分な距離を取り、マスクを着用する。

金銭等を扱った後は、手洗いをする。

補助員係

当分の間設置しない。

選手・競技役員との間は十分な距離を確保し、マスクを着用する。

庶務係

当分の間、弁当・お茶の用意はしない。

昼食及び湯茶の準備については、担当総務員の指示を受け行動する。

選手・競技役員との間は十分な距離を確保し、マスクを着用する。

共用物品が返却されたら、消毒をする。

表彰係

表彰式等の実施方法等は担当総務員に確認する。

表彰状をプリントアウトし、テーブルに置いておき、選手個々に取りに来てもらう場合もある。その際は、アナウンサーと連携をとる。

選手・競技役員との間は十分な距離を確保し、マスクを着用する。

公式計測員

選手・競技役員との間は十分な距離を確保し、マスクを着用する。

共用物品を使用した場合、必ず手洗いをを行う。

用器具係

個人で使用する用器具を扱った場合、すぐに手洗いをする。

選手と接する時・室内での活動時等は必ずマスクを着用する。

休憩時も状況を見て、マスクを着用する。

屋外で活動の場合のマスク着用は、熱中症に注意し各自の判断でマスクを着用する。

風力計測員

審判員の間は十分な距離を取り、マスクを着用する。

共有物品を使用したら、必ず手を洗う。

ウォームアップ場係

安全面から基本的に用具の貸し出しはしない。貸し出す場合は、担当総務員に確認する。貸し出しを行う場合は、該当の選手個人が借用に来て、返却まで責任を持たせる。又貸しは不可とする。

器具を使用し返却に来た場合、必ず手洗いの呼びかけをする。

活動中や選手と接触する場合は、マスクを着用する。

写真判定員

室内の三密対策を意識し、休憩は外で取る。

共有物品を使用したら、必ず手を洗う。

監察員

基本的には、マスクを着用するが、熱中症等に十分気をつける。選手・競技関係者と十分な距離が取れている場合、マスク着用は強要しない。

スターター

基本的には、マスクを着用する。選手・競技関係者と十分な距離が取れている場合のマスク着用は強要しない。

ピストルを共有する場合は、使用后、消毒作業もしくは手洗いをする。

出発係

競技実施方法を**競技委員会**に確認し、選手に対応する。

選手と接する際、十分な距離を確保し、マスクを着用する。

待機選手の間隔を十分に取らせる

予定時間より早く、他の組の選手を入れない。

トラック競技の選手控えは、スタート前3組程度までとする。

跳躍審判員

使用する用器具の準備片付けを**する**。**人手不足の場合は**用器具係と連携をとる。

競技委員会からの、競技実施方法を確認し、選手に対応する。

選手待機場所の密に気を付ける。

周りに選手・競技役員がいる部署の役員、声を発する部署の役員は、マスクを着用する。

共用物品を使用したら、必ず手洗いを行う。

記録係と情報処理員との距離は保つ。

投擲審判員

競技委員会の競技実施方法を確認し、選手に対応する。

選手待機場所の密に気を付ける。

周りに選手・競技役員がいる部署の役員、声を発する部署の役員は、マスクを着用する。

共用物品を使用したら、必ず手洗いを行う。

使用する用器具の準備片付けを**する**。**人手不足の場合は**用器具係と連携をとる。

滑り止め(炭酸マグネシウム等)共用を避ける。

大型映像・電光掲示係

マスクを着用する。室内の三密に注意、休憩は外でとる。

室内の人数はすくなくする。

任務終了後は必ず手洗いを行う。

ビデオ監察員

総務員の指示に従う、基本的に全レースの記録を取る。特に接触やルールに違反する行為が起こりそうなレースは、撮影し記録に残す

基本的には、マスクを着用する。選手・競技関係者と十分な距離が取れている場合のマスク着用は強要しない

医務室

三密対策は必要、選手等のプライバシーの確保を優先とする
非常事態に備え、できる限り別室を一部屋確保する

心掛けましょう

密閉空間 密集場所 密接場面
ソーシャルディスタンス